

注3

大学番号：私146

認可

[平成30年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

新潟食料農業大学

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人新潟総合学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 カチョウ タネハタ ケンジ
課長 種畑 賢二

電話番号 0254-28-9855

（夜間） 090-8957-3982

F A X 0254-28-9856

e-mail ml_soumu@nafu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

食料産業学部

＜食料産業学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	35

※別添資料（新潟食料農業大学FD・SD委員会規程）

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人新潟総合学園

(2) 大学名

新潟食料農業大学

(3) 調査対象大学等の位置

【新潟キャンパス】

〒950-3197

新潟県新潟市北区島見町940番地

【胎内キャンパス】

〒959-2702

新潟県胎内市平根台2416番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イケダ ヒロム) 池田 弘 (平成12年12月)		
学長	(ワタナベ ヨシアキ) 渡辺 好明 (平成30年4月)		
学部長	(ナカイ ユタカ) 中井 裕 (平成30年4月)		
学科長等	(ナカイ ユタカ) 中井 裕 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
食料産業学部 食料産業学科 学士(食料産業学)	農学関係	4年	180人	- 年次	720人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	180人 (-) [-]	人	180人 (-) [10]	人	人 (-) [-]	人	人 (-) [-]	人	人 (-) [-]	人	0.68倍	-	
志願者数	162 (-) [21]	- (-) [-]	334 (1) [49]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	152 (-) [20]	- (-) [-]	314 (1) [47]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	149 (-) [20]	- (-) [-]	307 (1) [47]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	99 (-) [17]	- (-) [-]	149 (1) [37]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.55		0.82		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	平成30年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	99 [17] (-)	- [-] (-)	149 [37] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	令和元年度…2年生95名のうち 編入学1名含む(2年次編入)
2年次			95 [14] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	99 [17] (-)		244 [51] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	99 人	5 人	平成30年度	5 人	3 人	就職1人、他の教育機関への入学1人、[就職1人、家庭の事情1人、就学意欲の低下1人]
令和元年度	244 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		5 人		5 人	3 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{99} = \boxed{5.05} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{244} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{\#REF!}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食料産業学部 食料産業学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	総合英語Ⅰ	1前	2					1			1
	総合英語Ⅱ	1後	2					1			1
	総合英語Ⅲ	2前	2			1		1			1
	総合英語Ⅳ	2後	2			1		1			1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	3前	2			1		1			1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	4前	2			1		1			1
	海外研修	2後	2	2		1		1			
	からだと健康	1前・後	2					1			
	スポーツ実践	1前・後	1					1			
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2					1			
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2					1			
	新潟と地域社会	1前	2								1
	農業・農村の暮らし	1後	2					1			
	食文化概論	1前	2								1
	法学	1前	2	2							1
	マクロ経済学	1前	2	2							1
	日本語表現法	1前	2	2							1
	コミュニケーション論	1後	2	2							1
	芸術	1後	2	2							1
	心理学概論	1後	2	2							1
数学の基礎	1前	1	1				1				
生物学の基礎	1前	1	1					1			
化学の基礎	1前	1	1					1			
物理学の基礎	1後	1	1							1	
基礎科目群	食料産業概論	1前	2			7	1	1			
	農学基礎実習	1前	2			7	1	2	1		
	植物生理・生態学概論	1後	2			1					
	微生物学概論	1後	2			1					
	生物資源循環論	2前	2			3					
	動物生産学概論	2後	2			2					
	経営学基礎	1後	2								1
	簿記・会計学	1後	2			1					
	食料・農業・農村政策	2前	2			1					
	経営学	2前	2								1
	食品学概論	1後	2			3					1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	総合英語Ⅰ	1前	2					1			1
	総合英語Ⅱ	1後	2					1			1
	総合英語Ⅲ	2前	2			1		1			0
	総合英語Ⅳ	2後	2			1		1			0
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	3前	2			1		1			1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	4前	2			1		1			1
	海外研修	2後	2	2		1		1			
	からだと健康	1前・後	2					1			
	スポーツ実践	1前・後	1					1			
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2					1			1
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2					1			
	新潟と地域社会	1前	2								1
	農業・農村の暮らし	1後	2					1			
	食文化概論	1前	2								1
	法学	1前	2	2							1
	マクロ経済学	1前	2	2							1
	日本語表現法	1前	2	2							1
	コミュニケーション論	1後	2	2							1
	芸術	1後	2	2							1
	心理学概論	1後	2	2							1
数学の基礎	1前	1	1					2			
生物学の基礎	1前	1	1				1	1	1		
化学の基礎	1前	1	2				1	1	1	1	
物理学の基礎	1後	1	1							1	
基礎科目群	食料産業概論	1前	2			7	1	1			
	農学基礎実習	1前	2			5	1	3	1		
	植物生理・生態学概論	1後	2			1					
	微生物学概論	1後	2			1					
	生物資源循環論	2前	2			3					
	動物生産学概論	2後	2			2					
	経営学基礎	1後	2								1
	簿記・会計学	1後	2			1					
	食料・農業・農村政策	2前	2			1					
	経営学	2前	2								1
	食品学概論	1後	2			2					2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目群	基礎ゼミⅠ	1前	1			6	2	5				
	基礎ゼミⅡ	2前	1			11		2				
	環境科学概論	1前	2			4						1
	栽培学概論	1前	2			1						
	ICT農業概論	2前	2									2
	フードサービス論	1後	2			1						
	農村ビジネス論	2前	2			1						
	食品流通論	2前	2			1						
	おいしさの科学	1後	2			1						
	食品開発・製造論	1後	2			1	1	2				1
	技術開発と工業所有権	2後	2									
	起業イノベーション論	2前	1			1						
	ビジネスプランニングⅠ	2前	1				1					
	ビジネスプランニングⅡ	2後	1				1					
	キャリアプランニングⅠ	2前	1			1						
	キャリアプランニングⅡ	2後	1			1						
	食料産業実践論Ⅰ	4前	2			1						
	食料産業実践論Ⅱ	4後	2			4	1					
	インターンシップⅠ	1後		1		1						
	インターンシップⅡ	3前		1		1						
専門基礎科目群	肥料学	2前		2		1						
	農薬学概論	2後		2		1						
	植物遺伝学	2後		2								1
	植物病理学	2後		2		1						
	作物生産科学基礎実験・実習	2前		1		4				1		
	食料経済学	2後		2		1						
	統計学	2前		2								1
	簿記・会計学演習	2前		2		1						
	マーケティング論	2後		2		1						
	食品栄養学	2前		2								1
	食品化学	2前		2		1						
	食品微生物学	2前		2		1						
	食品安全学	2後		2		1						
	食品製造学	2後		2			1					
	食品物性学	2後		2				1				
	科学Ⅰ	2前		2		2	1					
	科学Ⅱ	2後		2		3						
食品生産科学基礎実験・実習	2後		1		2	1	1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目群	基礎ゼミⅠ	1前	1			3	1	6	2			
	基礎ゼミⅡ	2前	1			7	1	2				
	環境科学概論	1前	2			4						1
	栽培学概論	1前	2			1						
	ICT農業概論	2前	2									2
	フードサービス論	1後	2			1						
	農村ビジネス論	2前	2			1						
	食品流通論	2前	2			1						
	おいしさの科学	1後	2									1
	食品開発・製造論	1後	2			1	1	2				
	技術開発と工業所有権	2後	2									1
	起業イノベーション論	2前	1			1						
	ビジネスプランニングⅠ	2前	1				1					
	ビジネスプランニングⅡ	2後	1				1					
	キャリアプランニングⅠ	2前	1			1						
	キャリアプランニングⅡ	2後	1			1						
	食料産業実践論Ⅰ	4前	2			1						
	食料産業実践論Ⅱ	4後	2			4	1					
	インターンシップⅠ	1後		1		1						
	インターンシップⅡ	3前		1		1						
専門基礎科目群	肥料学	2前		2		1						
	農薬学概論	2後		2								1
	植物遺伝学	2後		2								1
	植物病理学	2後		2		1						
	作物生産科学基礎実験・実習	2前		1		4				1		
	食料経済学	2後		2		1						
	統計学	2前		2								1
	簿記・会計学演習	2前		2		1						
	マーケティング論	2後		2		1						
	食品栄養学	2前		2								1
	食品化学	2前		2		1						
	食品微生物学	2前		2		1						
	食品安全学	2後		2		1						
	食品製造学	2後		2				1				
	食品物性学	2後		2					1			
	科学Ⅰ	2前		2		2	1					
	科学Ⅱ	2後		2		3						
食品生産科学基礎実験・実習	2後		1		2	1	1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	野菜園芸学	3前		2		1						1
	果樹・鑑賞園芸学	3前		2		1						
	有機栽培論	3前		2		1						
	土壌学	3後		2		1						
	昆虫学	3後		2								1
	農業気象学	3後		2								1
	植物生理学	3前		2		1						
	植物育種学	3前		2								1
	環境微生物学	3後		2		1		1				
	栽培科学実験・実習	3前		4		4		1	1			
	植物分子科学実験・実習	3後		4		2		1				1
	卒業研究Ⅰ(アグリコース)	3後		2		6		2				
	卒業研究Ⅱ(アグリコース)	4前		4		6		2				
	卒業研究Ⅲ(アグリコース)	4後		4		6		2				
	現代経済論	3前		2								1
	農業ビジネス論	3前		2				1				
	地域政策論	3後		2		2		1				
	地域計画論	3後		2		1						
	食品企業論	3後		2				1				
	ミクロ経済学	3前		2								1
	コーポレート・ファイナンス	3前		2		1						
	市場調査論	3前		2		1						
	eビジネス論	3後		2				1				
	商品企画・開発論	3後		2		1						
	食産業ビジネス演習Ⅰ	3前		4		3		1				
	食産業ビジネス演習Ⅱ	3後		4		3	1	1				
	卒業研究Ⅰ(ビジネスコース)	3後		2		6	1	2				
	卒業研究Ⅱ(ビジネスコース)	4前		4		6	1	2				
	卒業研究Ⅲ(ビジネスコース)	4後		4		6	1	2				
	食嗜好科学	3前		2		2						
	食品分析学	3前		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	健康栄養学	3後		2								1
保蔵学	3前		2				1					
食品安全管理システム論	3前		2		1							
環境技術学	3後		2				1					
農産物利用学	3前		2			1						
畜・水産物利用学	3後		2		1						1	
食品科学実験・実習	3前		4		4				1			
食品プロセス学実験・実習	3後		4		2	1	2	1				
卒業研究Ⅰ(フードコース)	3後		2		6	1	2					
卒業研究Ⅱ(フードコース)	4前		4		6	1	2					
卒業研究Ⅲ(フードコース)	4後		4		6	1	2					
合計(116科目)		—	76	164	0	20	2	8	2	0	30	
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目群・基礎科目群・共通科目群から80単位以上、専門基礎科目群・専門科目群から48単位以上を修得し、合計128単位以上を修得すること。</p> <p>[アグリコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修45単位を含め48単位以上</p> <p>[ビジネスコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修46単位を含め48単位以上</p> <p>[フードコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修45単位を含め48単位以上</p> <p><履修科目の登録上限></p> <p>1年次・2年次 48単位(年間)</p> <p>3年次・4年次 45単位(年間)</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	野菜園芸学	3前		2		1						
	果樹・鑑賞園芸学	3前		2		1						
	有機栽培論	3前		2					1			
	土壌学	3後		2		1						
	昆虫学	3後		2								1
	農業気象学	3後		2								1
	植物生理学	3前		2		1						
	植物育種学	3前		2								1
	環境微生物学	3後		2		1		1				
	栽培科学実験・実習	3前		4		4		3	2	1		
	植物分子科学実験・実習	3後		4		2		2	1			1
	卒業研究Ⅰ(アグリコース)	3後		2		6		5	3			
	卒業研究Ⅱ(アグリコース)	4前		4		6		5	3			
	卒業研究Ⅲ(アグリコース)	4後		4		6		5	3			
	現代経済論	3前		2								1
	農業ビジネス論	3前		2					1			
	地域政策論	3後		2		2		2	1			
	地域計画論	3後		2		1						
	食品企業論	3後		2					1			
	ミクロ経済学	3前		2								1
	コーポレート・ファイナンス	3前		2		1						
	市場調査論	3前		2		1						
	eビジネス論	3後		2					1			
	商品企画・開発論	3後		2		1						
	食産業ビジネス演習Ⅰ	3前		4		3		3	1			
	食産業ビジネス演習Ⅱ	3後		4		3	1	1	1			
	卒業研究Ⅰ(ビジネスコース)	3後		2		6	1	2				
	卒業研究Ⅱ(ビジネスコース)	4前		4		6	1	2				
	卒業研究Ⅲ(ビジネスコース)	4後		4		6	1	2				
	食嗜好科学	3前		2		2		1				
	食品分析学	3前		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	健康栄養学	3後		2								1
保蔵学	3前		2					1				
食品安全管理システム論	3前		2		1							
環境技術学	3後		2					1				
農産物利用学	3前		2				1					
畜・水産物利用学	3後		2		1						1	
食品科学実験・実習	3前		4		4		3			1		
食品プロセス学実験・実習	3後		4		2	1	2	2	1			
卒業研究Ⅰ(フードコース)	3後		2		6	1	2					
卒業研究Ⅱ(フードコース)	4前		4		6	1	2					
卒業研究Ⅲ(フードコース)	4後		4		6	1	2					
合計(116科目)		—	76	164	0	18	2	9	2	0	29	
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目群・基礎科目群・共通科目群から80単位以上、専門基礎科目群・専門科目群から48単位以上を修得し、合計128単位以上を修得すること。</p> <p>[アグリコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修45単位を含め48単位以上</p> <p>[ビジネスコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修46単位を含め48単位以上</p> <p>[フードコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修45単位を含め48単位以上</p> <p><履修科目の登録上限></p> <p>1年次・2年次 48単位(年間)</p> <p>3年次・4年次 45単位(年間)</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	野菜園芸学	3前		2		1						
	果樹・鑑賞園芸学	3前		2		1						
	有機栽培論	3前		2				1				
	土壌学	3後		2		1						
	昆虫学	3後		2								1
	農業気象学	3後		2								1
	植物生理学	3前		2		1						
	植物育種学	3前		2								1
	環境微生物学	3後		2		1		1				
	栽培科学実験・実習	3前		4		3		2	1			
	植物分子科学実験・実習	3後		4		2		1				1
	卒業研究Ⅰ(アグリコース)	3後		2		5		3				
	卒業研究Ⅱ(アグリコース)	4前		4		5		3				
	卒業研究Ⅲ(アグリコース)	4後		4		5		3				
	現代経済論	3前		2								1
	農業ビジネス論	3前		2				1				
	地域政策論	3後		2		2		1				
	地域計画論	3後		2		1						
	食品企業論	3後		2				1				
	ミクロ経済学	3前		2								1
	コーポレート・ファイナンス	3前		2		1						
	市場調査論	3前		2		1						
	eビジネス論	3後		2				1				
	商品企画・開発論	3後		2		1						
	食産業ビジネス演習Ⅰ	3前		4		3		1				
	食産業ビジネス演習Ⅱ	3後		4		3	1	1				
	卒業研究Ⅰ(ビジネスコース)	3後		2		6	1	2				
	卒業研究Ⅱ(ビジネスコース)	4前		4		6	1	2				
	卒業研究Ⅲ(ビジネスコース)	4後		4		6	1	2				
	食嗜好科学	3前		2		2						
	食品分析学	3前		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	健康栄養学	3後		2								1
	保蔵学	3前		2				1				
	食品安全管理システム論	3前		2		1						
	環境技術学	3後		2				1				
	農産物利用学	3前		2			1					
	畜・水産物利用学	3後		2		1						1
	食品科学実験・実習	3前		4		4			1			
	食品プロセス学実験・実習	3後		4		2	1	2	1			
	卒業研究Ⅰ(フードコース)	3後		2		6	1	2				
	卒業研究Ⅱ(フードコース)	4前		4		6	1	2				
卒業研究Ⅲ(フードコース)	4後		4		6	1	2					
合計(116科目)		—	76	164	0	18	2	9	2	0	32	
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目群・基礎科目群・共通科目群から80単位以上、専門基礎科目群・専門科目群から48単位以上を修得し、合計128単位以上を修得すること。</p> <p>[アグリコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修45単位を含め48単位以上</p> <p>[ビジネスコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修46単位を含め48単位以上</p> <p>[フードコース]教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上専門基礎科目群・専門科目群からコース必修45単位を含め48単位以上</p> <p><履修科目の登録上限></p> <p>1年次・2年次 48単位(年間)</p> <p>3年次・4年次 45単位(年間)</p>												

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目群	総合英語Ⅰ	1前	2					1				1	
	総合英語Ⅱ	1後	2					1				1	
	総合英語Ⅲ	2前	2			1		1				1	
	総合英語Ⅳ	2後	2			1		1				1	
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	3前	2			1		1				1	
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	4前	2			1		1				1	
	海外研修	2後		2		1		1					
	からだと健康	1前・後	2					1					
	スポーツ実践	1前・後	1					1					
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2					1					
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2					1					
	新潟と地域社会	1前	2									1	
	農業・農村の暮らし	1後	2					1					
	食文化概論	1前	2									1	
	法学	1前		2								1	
	マクロ経済学	1前		2								1	
	日本語表現法	1前		2								1	
	コミュニケーション論	1後		2								1	
	芸術	1後		2								1	
	心理学概論	1後		2								1	
	数学の基礎	1前		1				1					
	生物学の基礎(未開講)	1前		1						1			
	化学の基礎	1前		1						1			
	物理学の基礎	1後		1								1	
	基礎科目群	食料産業概論	1前	2			7	1	1				
		農学基礎実習	1前	2			5	1	3	1			
植物生理・生態学概論		1後	2			1							
微生物学概論		1後	2			1							
生物資源循環論		2前	2			3							
動物生産学概論		2後	2			2							
経営学基礎		1後	2									1	
簿記・会計学		1後	2			1							
食料・農業・農村政策		2前	2			1							
経営学		2前	2									1	
食品学概論		1後	2			2						2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目群	基礎ゼミⅠ	1前	1			4	2	6				
	基礎ゼミⅡ	2前	1			10		3				
	環境科学概論	1前	2			4						1
	栽培学概論	1前	2			1						
	ICT農業概論	2前	2									2
	フードサービス論	1後	2			1						
	農村ビジネス論	2前	2			1						
	食品流通論	2前	2			1						
	おいしさの科学	1後	2									1
	食品開発・製造論	1後	2			1	1	2				
	技術開発と工業所有権	2後	2									1
	起業イノベーション論	2前	1			1						
	ビジネスプランニングⅠ	2前	1				1					
	ビジネスプランニングⅡ	2後	1				1					
	キャリアプランニングⅠ	2前	1			1						
	キャリアプランニングⅡ	2後	1			1						
	食料産業実践論Ⅰ	4前	2			1						
	食料産業実践論Ⅱ	4後	2			4	1					
	インターンシップⅠ	1後		1		1						
	インターンシップⅡ	3前		1		1						
専門基礎科目群	肥料学	2前		2		1						
	農薬学概論	2後		2								1
	植物遺伝学	2後		2								1
	植物病理学	2後		2		1						
	作物生産科学基礎実験・実習	2前		1		3		1	1			
	食料経済学	2後		2		1						
	統計学	2前		2								1
	簿記・会計学演習	2前		2		1						
	マーケティング論	2後		2		1						
	食品栄養学	2前		2								1
	食品化学	2前		2		1						
	食品微生物学	2前		2		1						
	食品安全学	2後		2		1						
	食品製造学	2後		2			1					
	食品物性学	2後		2				1				
	科学Ⅰ	2前		2		2	1					
	科学Ⅱ	2後		2		3						
	食品生産科学基礎実験・実習	2後		1		2	1	1	1			

(3) 未開講科目

該当なし	位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	3				

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし	位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	3				

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	実測面積であった数値を登記面積にあわせて修正したため(30)			
	校舎敷地	27,334.00㎡ 27,393.84㎡	0.00㎡	0.00㎡	27,334.00㎡ 27,393.84㎡				
	運動場用地	6,000.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	6,000.00㎡				
	小 計	33,334.00㎡ 33,393.84㎡	0.00㎡	0.00㎡	33,334.00㎡ 33,393.84㎡				
	そ の 他	118,983.00㎡ 119,121.20㎡	0.00㎡	0.00㎡	118,983.00㎡ 119,121.20㎡				
	合 計	152,317.00㎡ 152,515.04㎡	0.00㎡	0.00㎡	152,317.00㎡ 152,515.04㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	設計図上の面積であった数値を登記面積にあわせて修正したため(30)			
		10,892.58㎡ 11,084.00㎡ (10,892.58㎡) (-11,084.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	10,892.58㎡ 11,084.00㎡ (10,892.58㎡) (-11,084.00㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	11室	25室	11室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	食料産業学部 食料産業学科			34 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	授業内容に即し、図書雑誌を再選定(30) 授業内容に即し、図書雑誌電子ジャーナルを再選定(元) 授業内容に即し、実験器具等を再選定(30)	
	食料産業学部	11,283 [424] 11,242 [390] (11,567 [486]) (-11,283 [424]) (11,242 [390])	93 [11] (129 [11]) (-72 [11]) (93 [11])	8 [7] (8 [8]) (-7 [7]) (-8 [7])	100 (100)	2,538 2,451 (2,538) (-2,451)	0 0		
	計	11,283 [424] 11,242 [390] (11,567 [486]) (-11,283 [424]) (11,242 [390])	93 [11] (129 [11]) (-72 [11]) (93 [11])	8 [7] (8 [8]) (-7 [7]) (-8 [7])	100 (100)	2,538 2,451 (2,538) (-2,451)	0 0		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		設計図上の面積であった数値を登記面積にあわせて修正したため(30) 大学全体			
	504.45㎡ 503.00㎡		88席	46,046冊					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	1,676.12㎡		-						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	授業内容に即し、図書雑誌を再選定(30)
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	73,633千円 74,117千円	500千円	3,000千円	
	学生1人当たり納付金	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	1,325,307千円 1,317,227千円	0千円	20,000千円	授業内容に即し、実験器具等を再選定(30)
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,500千円	1,350千円	1,350千円	1,350千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 名称	新潟医療福祉大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
リハビリテーション学部	4	250	—	1000	—	1.07	—	平成30年度	—	
理学療法学科	4	120	—	480	学士 (理学療法)	1.12	—	平成30年度	新潟県新潟市北区 島見町1398番地	
作業療法学科	4	50	—	200	学士 (作業療法)	0.99	—	平成30年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	—	160	学士 (言語聴覚)	1.06	—	平成30年度	同上	
義肢装具自立支援学科	4	40	—	160	学士 (義肢装具自立支援 学)	1.01	—	平成30年度	同上	
医療技術学部	4	295	—	1180	—	1.04	—	平成13年度	—	
理学療法学科	4	—	—	—	学士 (理学療法)	—	—	平成13年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
作業療法学科	4	—	—	—	学士 (作業療法)	—	—	平成13年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
言語聴覚学科	4	—	—	—	学士 (言語聴覚)	—	—	平成13年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
義肢装具自立支援学科	4	—	—	—	学士 (義肢装具自立支援 学)	—	—	平成19年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
臨床技術学科	4	100	—	400	学士 (臨床技術)	1.11	—	平成23年度	同上	平成30年度より 定員変更 (20)
視機能科学科	4	50	—	200	学士 (視機能科学)	1.01	—	平成26年度	同上	
救急救命学科	4	55	—	220	学士 (救急救命)	1.00	—	平成29年度	同上	
診療放射線学科	4	90	—	360	学士 (診療放射線)	1.00	—	平成30年度	同上	
健康科学部	4	240	3年次 5	970	—	1.09	—	平成19年度	—	
健康栄養学科	4	40	—	160	学士 (健康栄養)	1.09	—	平成19年度	同上	
健康スポーツ学科	4	200	3年次 5	810	学士 (健康スポーツ)	1.07	—	平成19年度	同上	
看護学科	4	—	—	—	学士 (看護)	—	—	平成19年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
看護学部	4	107	3年次 3	434	—	1.00	—	平成30年度	—	
看護学科	4	107	3年次 3	434	学士 (看護)	1.00	—	平成30年度	同上	
社会福祉学部	4	120	3年次 5	490	—	1.06	—	平成13年度	—	
社会福祉学科	4	120	3年次 5	490	学士 (社会福祉)	1.06	—	平成13年度	同上	
医療経営管理学部	4	80	3年次 5	330	—	1.13	—	平成22年度	—	
医療情報管理学科	4	80	3年次 5	330	学士 (医療情報)	1.13	—	平成22年度	同上	
大学 全体	4	1,092	18	4,404	—	1.07	—	—	—	
医療福祉学研究科	2 3	40 10	—	80 30	—	1.13	—	平成17年度	—	
保健学専攻 (M)	2	21	—	42	修士 (保健学)	1.09	—	平成17年度	新潟県新潟市北区 島見町1398番地	
社会福祉学専攻 (M)	2	5	—	10	修士 (社会福祉)	0.70	—	平成17年度	同上	
健康科学専攻 (M)	2	10	—	20	修士 (健康科学)	1.10	—	平成19年度	同上	
医療情報・経営管理学専攻 (M)	2	4	—	8	修士 (医療情報・経営管理 学)	1.00	—	平成26年度	同上	
医療福祉学専攻 (D)	3	10	—	30	博士 (保健学)	1.21	—	平成19年度	同上	平成30年度より 定員変更 (2)
大学院 全体	2 3	40 10	—	110	—	1.13	—	—	—	

大学の名称	新潟食料農業大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
食料産業学部	4	180	—	720	—	0.68	—	平成30年度	—	
食料産業学科	4	180	—	720	学士 (食料産業学)	0.68	—	平成30年度	新潟県新潟市北区島見町940	
大学全体	4	180	0	720	—	0.68	—	平成30年度	新潟県胎内市平根台2416	
大学の名称	事業創造大学院大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
事業創造研究科	2	80	—	160	—	0.89	—	平成18年度	—	
事業創造専攻(P)	2	80	—	160	経営管理修士 (専門職)	0.89	—	平成18年度	新潟県新潟市中央区米山3-1-46	
大学全体	2	80	—	160	—	0.89	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
28 名	15 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
20	2	8	2	32	13	2	8	2	25
(10)	(1)	(6)	(2)	(19)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
18	2	9	2	31	18	2	9	3	32
[Δ2]	[]	[+1]	[]	[Δ1]		[]	[+1]	[+1]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	7 名	11 名
60 歳	0 名	0 名

※教授、准教授、講師

※助教

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{31}{32} = \boxed{96.87} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{7}{25} = \boxed{28.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (平成29年)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>留意事項</p> <p>【開学前】 ・認可前と同様に、主要の教職員が構成メンバーとなる定例会議を毎月開催し、開学準備を実施した。 ・全教職員が一堂に会し、研修会を実施し、設置の趣旨・目的等を共有し、開学以降の授業計画の立案に活かせるような体制とした。 (平成29年9月24日、平成29年12月2日開催)</p> <p>【開学後】 ・教職員オリエンテーションを実施し、実際のカリキュラムにおいて設置の趣旨・目的等がどのように活かされるべきかを説明し、その周知徹底をはかった。(平成30年4月2日～5日) ・前期授業開始前に、学生オリエンテーションを実施し、プレイメントテストも含めて学生個々の状況を教職員が情報共有し、4年制大学にふさわしい教育研究成果が出せるような土台作りを実施した。(平成30年4月5日～6日)(30) ・新任教職員オリエンテーション、教授会、総務会、FD・SD研修、各種委員会活動を通じて設置趣旨に即した運営を通じて設置計画を確実に履行することにより4年制大学にふさわしい教育研究活動の推進に努めている。(元)</p> <p>履行中</p>	<p>完成年度までの設置計画の履行に対する留意事項であることから、左記のように「履行途中」。</p>

<p>認可時 (平成29年)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>本法人の就業規則では、定年65歳とされているが、大学新設等による教員就任に関しては実績と経験を考慮し定年延長の特例を設けている。あわせて、完成年度以降は教育・研究の継続および教育・研究内容の質の向上を維持するために、新規採用により適正な年齢構成、職位構成で教員組織が保持できるよう努める。教員の配置計画においては、完成年度において比較的高齢の教員が偏ることとなるものの、在籍する若手教員の多くは、博士号を取得済みであり、独自に教育・研究実績を積み上げる能力を有していることから、豊富な実績と経験をもつ教員と共同研究等を通して更に実績を積み上げ、能力を高めることができると考える。完成年度以降は、内部昇格をあわせて公募により広く募集し、若手教員の採用を行っていく予定である。 (30) 上記を受けて、引き続き完成年度以降若手教員採用に向けて採用計画を立案中。 (元)</p>	<p>履行中</p> <p>完成年度までの設置計画の履行に対する留意事項であることから、左記のように「履行途中」。</p>
-----------------------------	--	-------------	---	---

設置計画履行状況 調査時 (平成31年)	入学定員未充足の改善 に努めること	指摘事項 (改善)	平成30年度入試では、入学者数が99名と大幅に入学定員を割り込んだため、要因分析を行い入試制度改革やオープンキャンパスの改善、各種ガイダンスの参加強化など学生募集対策を実行した。その結果、令和元年度入試では入学者数が149名に増加したものの入学定員充足には至らなかった。 (元)	令和元年度入試分析結果に基づき下記の学生募集対策を実行していく。 1) 指定校推薦入試の拡充、特待生選抜対象となる入試区分の拡充、県外試験場の拡充等、入試制度改革の実行。 2) プログラム内容の見直しなどオープンキャンパス改革の実行。 3) 本学サイトリニューアルなどWEBプロモーションの強化。 4) 教員(学長・副学長含む)による高校訪問の実施。 5) 校内ガイダンスや出張講義など対面型広報の参加強化。 6) ビジネス系分野および食物系分野希望者など新規志願者層の獲得に向けたアプローチ強化。 7) 本学の特色化および競合校との差別化の推進。 8) 学生による地域貢献活動、社会連携活動、公開講座等の推進を通じて、大学認知の向上を図る。
			履行中	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<食料産業学部 食料産業学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 経費及び資金計画、設置経費及び経常経費の財源の調達方法 ・開設年度の前年度設置経費 3,247,380千円 ・補助金収入 721,946千円	① 経費及び資金計画、設置経費及び経常経費の財源の調達方法 ・開設年度の前年度設置経費 3,248,779千円 ・補助金収入 687,980千円 施設・設備等に係る経費が入札、見積取得から契約締結に至る過程で変更（減額）となり、新潟県、新潟市においても補助金を変更（減額）決定された。補助金は減額されたものの、施設・設備等の質・量ともに当初計画の水準を低下させることなく維持している。 （平成30年8月1日付にて設置計画変更協議文書提出済）

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD・SD委員会を設置 ※新潟食料農業大学FD・SD委員会規程を別添添付 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成30年度開催日： 4月25日（水）…（教員出席率100% 3/3） 平成30年度開催日： 6月6日（水）…（教員出席率100% 3/3） 平成30年度開催日： 7月4日（水）…（教員出席率100% 3/3） 平成30年度開催日： 9月5日（水）…（教員出席率100% 3/3） 平成30年度開催日： 12月5日（水）…（教員出席率100% 3/3） 平成31年度開催日： 4月9日（火）…（教員出席率100% 3/3） c 委員会の審議事項等 平成30年度開催日： 4月25日（水）…4月FD・SD研修の報告と次回研修会計画 平成30年度開催日： 6月6日（水）…4月FD・SD研修の報告と年間研修スケジュール計画策定 平成30年度開催日： 7月4日（水）…9月FD・SD研修計画策定 平成30年度開催日： 9月5日（水）…10月FD・SD研修計画策定、前期授業評価アンケート報告 平成30年度開催日： 12月5日（水）…後期と次年度のFD・SD研修計画策定 平成31年度開催日： 4月9日（火）…4月FD・SD研修の報告と次回研修会計画
② 実施状況 a 実施内容 ・FD・SD研修 ・授業方法について、各コース会議実施 ・教員相互の授業見学 ・新任教員のための就任前オリエンテーション（2018年12月実施）

b 実施方法

学内教職員による研修

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成30年4月2日（月）～4日（水）教職員オリエンテーション
内容／学長から「建学の精神」等の講話、副学長から「ハラスメント」等の講話、大学組織、カリキュラム、学生指導方針の説明 など…専任教職員全員（22名参加）
- ・4月5日（木）FD・SD研修会開催
内容／「大学の授業とは」「授業のコツ、使える技術、学習に問題を抱える学生への対応」
…専任教職員全員（22名参加）
- ・4月18日（水）FD・SD研修会開催
内容／「教員による高校訪問活動」「予算執行の手順」…専任教職員全員（22名参加）
- ・8月22日（水）FD・SD研修会開催
内容／「科学研究費助成事業への応募について」…専任教職員全員（22名参加）
- ・9月12日（水）FD・SD研修会開催
内容／「教授法について」…専任教職員全員（19名参加）
- ・10月24日（水）FD・SD研修会開催
テーマ／「『新旧入試混在期』の3年間を乗り切る学生募集とは？」…全教職員（29名参加）
講師／株式会社進研アド営業本部室長 河口 洋 氏
- ・11月28日（水）FD・SD研修会開催
テーマ／「外部資金の獲得方法について」…全教職員（21名参加）
- ・平成31年1月9日（水）特別講義／最近の食嗜好の変化などモンゴルの「食」事情
講師／モンゴル人材開発センター（JICA運営担当）滝口 良 氏
- ・1月16日（水）FD・SD研修会「就職支援について」…同法人事業創造大学院大学主催
講師／新潟大学キャリアセンター 副センター長・准教授 西條 秀俊 氏 （本学3名教職員参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記FD・SD研修において、学習に問題を抱える学生や授業の進め方について教員同士が討論や議論を行うことにより、情報が共有化され、今後の学生指導や授業運営など教育の向上や教育の質の保証に直接的に役立てることに繋がる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎学期末に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては教授会、学生に対しては学内情報ポータルサイトを通じて公表予定。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

該当なし

委員会に関する事項

短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現在、食料・農業分野は国内外問わず大きな変革期にあり多様な解決すべき喫緊の課題が山積みとなっている。その課題を解決し且つ、食料・農業分野の発展を実現するためには自然科学と社会科学が分野を超えて連携することが不可欠であり、自然科学と社会科学のシナジー効果によって農林水産業を成長産業とすることができると考え、「食」「農」を一体的に教育研究する高等教育機関として、新潟食料農業大学を設置した。

上記設置趣旨・目的を達するために全学的な取り組みを開始した。まずは全学的な重要事項を審議する総務会、学部の教育や研究に関する意思決定機関としての教授会を開催し、そして各種委員会を4月に開催した。また、FD研修を開催し、学生指導や授業運営など教育の質的向上を図る取り組みも開始した。

以上の取り組みをはじめ、各種取り組みを加速・発展させていくことで食料・農業界をリードする人材育成および研究開発を担う高等教育機関を目指し、その存在価値を高めていく。

上記平成30年5月1日時点の報告を受けて、平成30年度は全学的な重要事項を審議する総務会を12回/年、教授会を12回/月開催し、委員会においては平成30年度に10委員会の活動および、平成31年4月に2委員会を新たに発足、加えてFD・SD研修は9回/年開催し学生指導や授業運営など教育の質的向上を図る取り組みを推進し、設置の趣旨・目的の達成に向けた活動に努めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・完成年度の令和4年以降に公表を検討中

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業や取引先等の関係者に配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・完成年度（令和4年以降）以降に認証評価を受けることを検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (文部科学省からの結果通知後速やかに公表予定)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。